



JR東労組本部申11号 2019年度年末手当に関する申し入れ

11月8日 第2回交渉を行う! その1

組合

訪日客・多客期・異常時対応について

- ◆営業では、訪日客の対応でポケットの活用や外国語の学習を通じ案内作成に努め、地域と連携して取り組んできた。また、スタンプラリー等も取り組んできた。
- ◆運車では、臨時列車の増発で多客期輸送を支えてきた。また、多言語放送アプリを活用し、すぐにドア扱いを行うこともあり、苦労と神経を研ぎ澄ましながらか乗務している。
- ◆工務では、相次ぐ台風の不眠不休で復旧作業に努めてきた。また、避難指示が出ている箇所での作業も行ってきた努力がある。
- ◆管理者や企画部門は、計画運休後の運転再開の乗務員手配、現場への派遣などを協力しながら対応してきた。

組合

各種施策の取り組みについて

- ◆旅行業では、施策に伴い店舗が減少する中で、日々お客さまの対応にあたっている。そして、ダイナミックパッケージや大人の休日倶楽部のWEB入会も案内し、収入確保に向けて努力している。
- ◆乗務員勤務制度が変わったダイヤ改正以降、乗務比率が上がり、疲労感がある中で事故対応の延長運転もあり、超勤が増加し、勤務もきつくなっている。
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けて、車内防犯カメラ設置に対応に追われている。
- ◆工務職場では、法令改正に伴う間内改良、期日が決まっている工事で余裕がなく、さらに災害がある中で、安全で期日内に進めるように奮闘している。
- ◆建設工事部門では、新幹線のCOSMOSの配電盤更新など、鉄道の基盤をつくっている。
- ◆医療部門では、入院患者の高齢化による医療の質が変わり、また訪日客の増加に伴い、その対応で看護の質、医療の質が変化している。

会社

- ◆ラグビーワールドカップなどインバウンドの取り組みを着実に進め、スタンプラリー等で新規の利用者拡大に取り組んできたことに感謝している。
- ◆運車のみならず色々な系統の努力だと認識している。会社として社員の能力向上のバックアップを行っており、社員の苦労は認識している。
- ◆昼夜問わず、安全を確保しつつ連携を取りながら異常時対応に努力してきたことは確かだ。
- ◆異常時対応の課題はあるが、全社員が協力して安全を確保しながら、早期復旧に向けて取り組んできたことは認識している。

会社

- ◆旅行業の店舗が減少し苦労していることは認識している。今後は、ネット販売へつながるようにしていきたい。引き続きご案内に努めていきたい。
- ◆施策を議論した中で、社員の理解を得ながら進めている。乗務員職場の実態については今後見極めて、実態がどうであったのか把握していきたい。
- ◆限られた期間で工事しなければいけないことに感謝している。設置後の調整も含め対応していただいていることを認識した。
- ◆予定された中で災害が発生し、工事ができなくなるなど苦労をかけている。そのような中で、現場や支社で再計画など判断して対応に努めている。
- ◆工務をはじめ営業、乗務員のみならず、全ての社員が努力していると認識し、評価している。今の業績と社員の努力、将来に向けた業績と努力のバランスを考えていきたい。

過去に例がない災害を乗り越え、
職場の奮闘に満額回答で応えるべきだ!
順調な経営を支えてきた